

496,800,000

人の子どもに予防接種

266,000,000

人が社会セーフティネット・プログラムの対象に

188,600,000

人の妊婦に妊婦検診

145,420,000

人の飲料水へのアクセスが改善

124,670,000

人の子どもにビタミン剤を配布

65,790,000

人が基本的な保健サービスにアクセス

34,900,000

張の殺虫剤処理済みマラリヤ予防蚊帳を配布

9,910,000

人がより整備された衛生施設にアクセス

4,140,000

人の教員を採用・研修

2,660,000

人の保健従事者を研修

1,960,000

世帯が新たに上水道サービスにアクセス

330,000

か所のより整備されたコミュニティ給水ポイントを新設・修復

180,000

キロの道路を建設・修復

# 世界銀行 年次報告 2012



THE WORLD BANK

## 世界銀行は、成果を達成しそれを広めることに力を注いでいます。

途上国の貧困削減及び機会創出の取組みを続ける中で、世界銀行は組織内及び開発現場の両方で進化を遂げ、クライアントへの対応についても常に改善を図っています。本年度の年次報告は、世銀の支援を得てパートナーが達成した国別成果を示す世界銀行コーポレート・スコアカードを掲載しています。ミレニアム開発目標（MDGs）達成の目標年である2015年が目前に迫る中、今年度の年次報告に成果指標を含めることは特に意味のあることです。

本年次報告の表紙では、世銀プロジェクトを通じて各国が達成した成果をご紹介します。こうした成果は、主に過去10年間のもので、世界銀行を構成する国際復興開発銀行（IBRD）と国際開発協会（IDA）の取組みを象徴するものです。

添付のCD-ROMには、世銀の取組み、6つの地域における世銀の活動と成果、途上国におけるこれまでの具体的な成果、包括的な融資データと世銀融資に関するプレゼンテーション、詳細な財務諸表などが収録されています。また、本文からも詳しい情報へのリンクが数多く張られている他、年次報告、スコアカード、成果に関するウェブサイトをご覧いただければ、加盟国と世銀の共同の取組みについて、さらに理解を深めていただけるでしょう。

- [worldbank.org/annualreport/2012](http://worldbank.org/annualreport/2012)
- [corporatescorecard.worldbank.org](http://corporatescorecard.worldbank.org)
- [worldbank.org/results](http://worldbank.org/results)

## 目次

ロバート・B・ゼーリック前総裁からのメッセージ	1
ジム・ヨン・キム新総裁からのメッセージ	3
理事会からのメッセージ	4
成果に対する世銀のコミットメント：コーポレート・スコアカード	7
Tier I：開発の進捗状況	8
Tier II：世銀の支援を受けた国別成果	10
Tier III：開発成果とプロジェクトの有効性	12
Tier IV：組織の有効性と改革	14
世界銀行グループ	16
IBRDの役割	16
IDAの役割	17
2012年度 業務概要	20
世界銀行によるテーマ別、セクター別融資	22

本年次報告は、2011年7月1日から2012年6月30日までの活動を対象に、国際復興開発銀行（IBRD）と国際開発協会（IDA）（世界銀行と総称される）の理事が、それぞれの機関の規定に従って作成したものです。IBRDとIDAの総裁及び理事会議長を兼務するジム・ヨン・キム博士は、本年次報告、運営予算、及び監査済み財務諸表を総務会に提出しました。

本年次報告中のドル表記は全て、特に断りがない限り、米ドルの現在価額を示しています。また、四捨五入の結果、表中の数字の合計値が総計と異なる場合や、図中のパーセンテージの合計値が100にならない場合があります。なお、本書中の「世界銀行」及び「世銀」はIBRDとIDAを指しています。また、「世界銀行グループ」はIBRD、IDA、IFC、MIGA、及びICSIDを指しています。

国際金融公社（IFC）、多数国間投資保証機関（MIGA）、及び投資紛争解決国際センター（ICSID）の年次報告は別途刊行されます。

## 世界銀行 年次報告 2012 CD-ROM目次

- ＞ 世界銀行年次報告2012（冊子）、8か国語
- ＞ グローバルな知識と経験に基づいた取組み、8か国語
- ＞ 地域別概要
- ＞ 2012年の世界銀行の成果
- ＞ 財務諸表
- ＞ 地域別所得
- ＞ 融資データ
- ＞ 新規承認プロジェクト
- ＞ 組織に関する情報
- ＞ 世銀による融資（プレゼンテーション）

## ロバート・B・ゼーリック前総裁からのメッセージ

この5年間は、世界銀行グループの能力、特にクライアントのニーズへの対応力が試されてきた5年間でした。途上国と先進国が共に、食糧危機、燃料危機、金融危機という3つの危機に見舞われ、飢餓、貧困、失業、債務など、政治的な意味合いを持つ経済・社会及び人間の安全保障の危機に直面してきました。この困難な時期を通して、世銀グループは柔軟性、迅速性、革新性及び成果を重視しながらクライアントに対する支援を強化し、困難の中に機会と希望を模索してきました。

世銀グループの出資国は、最大級の資金支援をもって我々の優先課題や実績を後押ししてくださいました。2007年と2010年の2回のIDA増資はいずれも過去最高額を更新し、合計で900億ドル以上が調達されました。また2010年には、出資国は20数年ぶりにIBRDの増資に合意し、現在、世銀は十分な資金力を備え、トリプルAの格付けを維持しています。



世銀は、成長の極が多極化した世界経済に向けて新たな国際協調主義を進めると共に、情報開示や説明責任の拡大、知識や情報の共有を通じて開発の民主化を進めてきました。また、社会的説明責任の拡大、汚職との闘い、より良いガバナンス構築のための基礎を築いています。我々はアフリカを中心とする全ての地域における貧困層に常に着目し、最も脆弱な人々を保護するため、財政的に持続可能なセーフティネットの必要性を強調してきました。同時に、我々は世界の成長の原動力として重要性が増しつつある中所得国に対し、その実情に合った新たな支援の手法を開発しました。世銀は、ジェンダーの平等、食糧安全保障、気候変動と生物多様性、インフラ投資、防災、金融革新、弱者への配慮などにも取り組んできました。

世銀グループは、開発において民間セクターが果たす中心的役割に特に注目してきました。我々は投資や民間セクターの活動を助長する環境づくりを支援し、中小企業への融資やマイクロファイナンス、貿易金融を支援し、官民パートナーシップへの注意を喚起し、紛争に影響を受けた国や脆弱国など、投資を最も必要とする国々へ民間投資が向かうよう奨励しています。

2012年度、世銀グループは加盟国の政府や民間企業に対して総計526億ドルの融資、グラント、直接投資、保証のコミットメントを行いました。このうちIBRDのコミットメントは、2011年の267億ドルに対して、206億ドルでした。世銀グループの最貧困層向けの基金であるIDAのコミットメントは、2011年の163億ドルに対して、148億ドルでした。

本年次報告では、世銀の活動状況全体の重点項目を概観する世界銀行コーポレート・スコアカードを掲載しました。その目的は、世銀の幹部や理事会が進捗状況を評価し、改善の必要なプログラムやイニシアティブを特定することです。

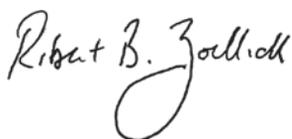
スコアカードの核となっているのが成果です。世銀の様々な実績については、本年次報告の印刷版に添付されているCD-ROMの「2012年世銀の成果」と題した章の中で紹介されています。今年の年次報告は、読者からの要望、紙の節約、経費削減などの観点から、世界経済危機に対する世銀の取組み、東アジア、南アジアなど6地域の開発の概要など、内容の多くを電子形式にしています。

世銀の成果として重要な分野の1つが、「世界開発報告2012」のテーマ「ジェンダーの平等と開発」です。過去数十年間に女性の地位は劇的に変化し、識字率、就学率、就職率及び平均寿命の向上を達成しています。それでもまだ、収入や生産性、産前・産後のケア、社会に

おける発言の機会などの点で課題が残っています。この報告の主題は、ジェンダーの平等についてそれ自体、正しい開発目標というだけでなく、生産性を引き上げ、次世代の成長可能性を高めるという意味で経済合理的でもあるとしています。本報告は、今後の優先課題として、死亡率、教育、経済的機会へのアクセス、社会における発言権や影響力におけるジェンダー格差の縮小などを指摘しています。

世銀職員は、こうした課題に対して、新しい革新的なツールを駆使して取り組んでいます。具体的には、融資と成果とを連動させたPforR（成果連動型プログラム融資制度）、世銀の調査研究と知識へのアクセスを可能にするOKR（オープン・ナレッジ・リポジトリ）、教育システム改革の指針となるグローバルな情報基盤であるSABER: Systems Approach for Better Education Results（教育成果向上のためのシステム・アプローチ）などが挙げられます。本年度の年次報告では、過去1年間にクライアントのニーズへの対応を高めていく上で、これらのプログラム等がどのように重要な役割を果たしてきたかが示されています。

世銀グループ総裁として私が皆さまにメッセージをお届けするのは、これが最後となります。総務会、理事会、その他パートナーの皆さまには世界銀行という重要な機関の運営に当たり、ご指導・ご支援を賜りましたことに対し、御礼を申し上げます。とりわけ、世銀グループの幹部、ならびに高い使命感を持ち勤勉かつ思慮深い職員の皆さんに、感謝します。皆さまの手によって、世界のあらゆる場所で開発が実際の成果を生んでいます。皆さまと共に働いたことを大変光栄に思っております。



**ロバート・B・ゼーリック**

世界銀行グループ総裁

兼理事会議長（2007-2012年）

## ジム・ヨン・キム新総裁からのメッセージ

ここに、世界銀行年次報告2012をお届けいたします。本報告は、困難な世界経済環境下での世界銀行の実績や開発効果を紹介しています。また、繁栄を築き貧困を削減するという共通の目標に向けて、世界銀行グループ機関相互の協調や外部パートナーとの協力の重要性も強調しています。

現在、世界銀行グループは、弱者に配慮した持続可能な成長と社会の発展を加速させるまたとない機会を手に入れています。我々はクライアントが直面する差し迫った課題へ対応するに当たり、特に費用対効果の高い社会的セーフティネット構築の支援などを通じて、引き続き支援を行っています。他方、我々は、より長期的なクライアントの開発戦略の策定・実施についても、融資、知識、経験、専門性などを通じて支援できます。

世銀グループの理事会、パートナー、クライアント、そしてワシントンDC及び世界各地の献身的な職員の皆さんと共に働くことを楽しみにしています。途上国の差し迫った課題への対応と将来の機会確保を支援するという我々の使命は、これまで以上にその重要性が高まっています。この素晴らしい仕事を担うことができ光栄です。



A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Jim Yong Kim'. The signature is stylized and fluid, with long, sweeping lines.

**ジム・ヨン・キム**

世界銀行グループ総裁  
兼理事会議長



## 理事会からのメッセージ

理事会の理事25名は、世銀業務全般に責任を負い、総務会から委任された権限に従って職務を遂行しています。世銀協定に基づき、5名の理事は5大出資国からそれぞれ1名任命され、残りの理事はその他の加盟国により2年ごとに選任されます。

理事会は、総裁が提出する国際復興開発銀行（IBRD）の貸出・保証案件及び国際開発協会（IDA）の融資・贈与・保証案件について検討し、決定を下します。また、世銀が果たすべき国際的役割についての加盟国の見解の変化や、クライアントの経験を代弁し、世銀の業務全般及び戦略的方向性の指針として重要な役割を果たします。理事会は、財務諸表、運営予算、更に会計年度ごとの世銀の実績・プロジェクト・政策についてまとめた「世界銀行年次報告」を総務会に提出する任も負っています。

理事会には監査委員会、予算委員会、開発効果委員会、ガバナンス・運営委員会、人事委員会という常任委員会があり、各理事は1つまたは複数の委員会に属しています。また、非公式な諮問機関である理事会運営委員会も、定期的に会合を開いています。

理事達は定期的に加盟国を訪問して、進行中の世銀のプロジェクトを検証し、現地の世銀職員、政府職員、受益者、非政府組織の代表者、その他の開発パートナー、経済界など、様々な関係者と意見交換を行います。2011年10月、2012年2月、同5月に、ヨーロッパ・中央アジア、南アジア、西アフリカの国々を訪問しました。

独立評価グループ（IEG）は、プロジェクトの妥当性、持続可能性、インパクトについての助言を独立した立場から提供しています。また、理事会は、プロジェクトで業務政策・手順が遵守されているかを、理事会直属の独立した組織である査閲パネルを通じてモニターしています（<http://worldbank.org/ieg>及び<http://worldbank.org/inspectionpanel>参照）。

左から右へ：（起立）Rogerio Studart, Ingrid Hoven, Agapito Mendes Dias, Merza Hasan, Piero Cipollone, Jorg Frieden, Vadim Grishin, Marie-Lucie Morin, Shaolin Yang, Marta Garcia Jauregui, Hekinus Manao, Sid Ahmed Dib（代理）, Ruud Treffers, Konstantin Huber, In-Kang Cho（代理）, Hassan Ahmed Taha, Mukesh N. Prasad;（着席）Ilan Solomon, Felix Alberto Camarasa, Ambroise Fayolle, Susanna Moorehead, Abdulrahman Almfadhi, Anna Brandt, Renosi Mokate, 林信光 写真：Frank Vincent

## 2012年度の理事会の実績

理事会は、世界経済の展望が厳しい中、貧困削減及び弱者に配慮した成長を促進するための改革、ならびに危機対応力の支援に重点を置いて、世銀グループの業務監督を続けました。また、「世界開発報告2012：ジェンダーの平等と開発」や、既存の社会的セーフティネット・プログラムの設計及び効率性の改善と新たなセーフティネットの構築に関する「Safety Nets Work: During Crisis and Prosperity（仮題：セーフティネットの効力：危機の時も発展の時も）」など、こうした問題に関して重要な文書の検討を行いました。「世界開発報告2013：雇用」も検討予定です。

理事会は、ミレニアム開発目標（MDGs）の進捗状況について「グローバル・モニタリング・レポート：食糧価格、栄養、及びミレニアム開発目標」の中で、また「オープン・データ、オープン・ナレッジ、オープン・ソリューション」イニシアティブなど主要な改革について「Update on the Bank's Business Modernization: Results, Openness, and Accountability（仮題：世銀業務改革の進捗状況：成果・公開・説明責任）」の中で議論しました。また、リオ+20及びG20のプロセスが進められている、持続可能な開発に関する閣僚級対話にも注目し、報告書「The World Bank Group Innovations in Leveraging the Private Sector for Development（仮題：開発分野における民間セクター活用のための世銀グループのイノベーション）」を歓迎しました。

理事会は、「アフリカの角」地域における干ばつ及び飢饉に対する救済を危機対応融資制度の資金で支援した他、「脆弱国支援取組みのニューディール政策」の実施、ならびに立ち遅れた地域や脆弱な国々、社会から疎外された脆弱層を中心にMDGsの達成に取り組むことを確認しました。

理事会はジム・ヨン・キム博士を、2012年7月1日から5年間の任期で総裁に選出しました。キム博士は、世界銀行グループ総裁と理事会議長を務めます。

理事会は2012年度に約353億ドルの支援を承認しました。このうち約206億ドルがIBRD貸出、148億ドルがIDAによる支援でした。理事会は49件の国別援助戦略の検討も行いました。このうち41件は国際金融公社（IFC）と共同で準備されたものです。また、世銀の2013年度運営予算19億ドル弱を承認しました（<http://worldbank.org/boards>参照）。

# 成果に対する世銀のコミットメント： コーポレート・スコアカード

コーポレート・スコアカードは、世銀の全体的なパフォーマンスとクライアントが達成した成果に関する情報を開示し、経営陣と理事会による進捗状況や要注意領域に関する対話を促進するものです。2年前に導入されたスコアカードは4つの層（Tier）で構成され、IBRD及びIDAのあらゆる領域の活動が対象とされています。

Tier I は世界的な開発の進捗状況に関するもので、ここに掲載されている指標は、クライアントで達成されている長期的な開発成果ならびに世銀の取組みの状況や方向性を示しています。そうした高いレベルでの成果は、クライアントやその開発パートナーの全てがいくつかのセクターでの介入、行動、政策決定を通じて長期にわたって寄与してきたものであるため、世銀に直接起因すると判断することはできません。また、これらの指標は世界的危機のような外的要因の影響も受けます。Tier II は世銀支援を受けた国別の結果であり、クライアントが世銀支援を受けて達成した成果を示しています。Tier III の「開発成果とプロジェクトの有効性」は、世銀のプロジェクトやサービスの有効性に関する情報を提供しています。Tier IV の「組織の有効性と改革」では、世銀がどれだけ機能し、クライアントによる成果達成に向けてより良い支援を提供するためにどのように適応しているかを示しています。さらに世銀は、インターネット上で包括的な成果報告システムを運営しています。

成果

## 開発の進捗状況

世銀のクライアントをグループで見たときの開発の進捗状況は？

成長・雇用・貧困  
組織・制度とガバナンス  
人間開発とジェンダー  
持続可能な開発  
金融・民間セクター開発・貿易

## 世銀の支援を受けた国別結果

世銀はクライアントの結果達成をどのように支援しているか？

組織・制度とガバナンス	Y
人間開発とジェンダー	G
持続可能な開発	G
金融・民間セクター開発・貿易	G

パフォーマンス

## 開発成果とプロジェクトの有効性

世銀は結果達成に向けた活動の遂行を効果的に管理しているか？

開発成果	Y
融資業務	Y
知識関連の活動	G
クライアントのシステムの活用	G

## 組織の有効性と改革

世銀はスキル、能力、資源の管理と処理を効率的に行っているか？業務改革は順調に進んでいるか？

資源と調整	G
能力とスキル	Y
業務改革	Y
危機後の方向性に関するセクター別活動	G

### 凡例

- G** グループ内の指標の多くが改善を示している、もしくは順調である。
- Y** 明白な傾向が見られない：改善を示す指標もあれば、低下を示す指標や変化のない指標もある。
- R** グループ内の指標の多くが低下を示している、または順調でない。
- NA** 十分なデータがない、またはグループ内の指標に傾向が見られない。

**Tier I**：全体的な開発の状況を示しているため、信号機形式の色分けはTier IIには割り当てられていない。

**Tier II**：本表は、世銀支援の進捗状況の評価に対する総合的なレーティングを示している。詳細な表での個々の指標は各国の需要によるため、評価はつけられていない。

## Tier I: 開発の進捗状況

指標	ベースライン		現在		関連項目		MDGターゲット 1990-2015
	値	年	値	年	PCD	MDG	

## 成長・雇用・貧困

1日1.25ドル（購買力平価）未満で生活する人口の割合 <sup>+</sup>	(%)	31.1	2002	22.7	2008	1	MDG1	1990年のベースライン42.3%から半減
国民1人当たりGDP <sup>+</sup>	(2000年実質値、ドル)	1,657	2006	2,080	2011	1,2		
民間セクターに対する国内の信用供与	(GDPに占める%)	55.2	2005	74.7	2011	1,2		
人口に占める就業者の割合（15+）	(%)	62.1	2005	61.2	2010	1,2	MDG1	
男性賃金労働者に対する女性賃金労働者の比率 <sup>+</sup>	(%)	68.4	2006	67.5	2010	1,2	MDG3	

## 組織・制度とガバナンス

適性な権力構造が確立された国家制度	(1-10段階)	6.2	2006	6.3	2012	4		
効果的で説明責任を負った政府	(7-10段階)	2.89	2006/07	3.20	2010	4		
情報公開	(0-100段階)	50.01	2007	56.94	2010/11	4		
統計力の水準	(0-100段階)	66	2005	67	2011	4		

## 人間開発とジェンダー

5歳未満児の死亡率 <sup>+</sup>	(出生児1000人当たり)	70	2006	63	2010	1,5	MDG4	1990年のベースライン100から3分の2削減
女性のHIV感染率	(15-24歳の人口に占める%)	0.8	2009	0.8	2009	1,5	MDG6	2015年までに蔓延を阻止し、その後減少
妊産婦死亡率 <sup>+</sup>	(出生児10万人当たり)	290	2005	230	2010	1,5	MDG5	1990年のベースライン440人から4分の3減少させる
低体重児の割合 <sup>+</sup>	(5歳未満児に占める%)	20.1	2005	17.7	2010	1,5	MDG1	
初等教育修了率 <sup>+</sup>	(当該年齢層に占める%)	85.1	2005	89.2	2010	1,2	MDG2	100%（1991年のベースライン 69%）
中等教育就学率	(%、グロス)	60.7	2005	66.7	2010	1,2		
初等・中等教育におけるジェンダー格差指数 <sup>+</sup>	(%)	94.4	2005	96.9	2010	1,2	MDG3	100%（1991年のベースライン 84%）

## 持続可能な開発

## インフラ

舗装道路	(道路全長に占める%)	31.6	1999-03	50.6	2005-09	1,2		
より整備された飲料水源へのアクセス <sup>+</sup>	(人口に占める%)	83.4	2005	86.4	2010	1,2	MDG7	アクセスのない人々の割合を半減（1990年のベースライン28%）
より整備された衛生施設へのアクセス <sup>+</sup>	(人口に占める%)	53.2	2005	56.4	2010	1,2	MDG7	アクセスのない人々の割合を半減（1990年のベースライン57%）
家庭の電化率 <sup>+</sup>	(全世帯数に占める%)	[56.3]	2004	[61.3]	2008	1,2		
携帯電話加入率 <sup>+</sup>	(100人当たり)	33	2006	73	2010	1,2	MDG8	

## 農業生産性と食糧安全保障

穀物生産高	(1ヘクタール当たりkg)	2,894	2006	3,110	2010	1,2,5		
農業従事者1人当たりの付加価値	(2000年実質値、ドル)	685	2006	761	2010	1,2,5		

## 気候変動と環境

CO <sup>2</sup> 排出量 <sup>+</sup>	(2005年GDP 1ドル当たりのkg)	0.65	2005	0.60	2008	3	MDG7	
保護対象となっている陸地の割合	(総地表面積に占める%)	12.0	2006	12.1	2010	1,3	MDG7	
年間平均森林減少率	(%)	0.3	1990-00	0.2	2000-10	1,3	MDG7	

## 金融・民間セクター開発・貿易

正当な金融機関に口座を持つ人の男女比	(15歳以上人口に占める%)	9.7	2011	9.7	2011	1,2		
国際物流効率性指数：全体 <sup>+</sup>	(5段階評価：高5→低1)	2.5	2007	2.6	2012	1,2,3	MDG8	
貿易の多様化						1,2,3	MDG8	
・製品輸出の多様化	(指数：0-1)	0.24	2005	0.21	2009			
・市場の多様化	(指数：0-1)	0.23	2005	0.21	2009			
起業所要期間 <sup>+</sup>	(日)	50	2007	36	2011	2		

**Tier I:** 貧困に関する最新のデータでは、初めて全途上国地域で貧困人口が減少し、また最近の危機にもかかわらず、世界全体での貧困人口の減少が続いています。世銀調査に基づいた2010年の暫定値では、サンプル数は多くはないものの、1日1.25ドル未満で生活する世界の貧困層の割合が1990年の2分の1以下に低下していることが示されており、極度の貧困状態にある人々の割合を1990年レベルから半減させるという第一のミレニアム開発目標が2015年を待たずして達成されたこととなります。それ以外にも途上国は様々な前進を遂げています。途上国の国民1人当たり年間GDPが増加し、初等・中等教育におけるジェンダーの平等も2010年に向上しました。また、2010年にはより整備された飲料水源の普及率が世界人口の86%近くに達しました。

しかし、こうした世界的動向の陰に国家間や国内での著しいばらつきが隠されています。最貧困層は依然として脆弱であり、雇用、ガバナンス、生物多様性やその他の優先分野ではごくわずかな進展しか見られていません。妊産婦死亡率及び幼児死亡率もMDGs目標の達成にはほど遠い水準です。過去4年間の食糧危機、燃料危機、金融危機が脆弱人口に深刻な悪影響をもたらしたケースもあり、一部の国では貧困削減率が低下しています。

## 凡例

## 関連項目

## PCD 1-5

危機後の方向性との関連:

1. 貧困層や脆弱層に重点
2. 成長機会の創出
3. グローバルな協調の促進
4. ガバナンスの強化
5. リスクの管理と危機に対する準備

## MDG

ミレニアム開発目標との関連

## データ

[ ] IDAのみ

+ IDA16 成果評価システムで使用されている指標

**注:** Tier IはIBRD/IDA適格国における全体的な開発の状況を示すものであるため、信号機形式の色分けはTier Iには適用されていない

## Tier II: 世銀の支援を受けた国別成果

指標	タイプ	ベースライン		現在		PCD 関連項目	
		値	年	値	年		
<b>組織・制度とガバナンス</b>							
国家統計システムが強化された国	(国数)	成果	6	07年度	13	12年度	2,4
資産・負債・リスク管理に関する世銀支援プログラムが行われた国	(国数)	結果	64	10年度	85	12年度	2,4,5
公共管理システムが強化された国							
・ 行政管理	(国数)	成果	28	12年度	28	12年度	2,4
・ 税務政策と税務管理	(国数)	成果	27	12年度	27	12年度	2,4
・ 財務管理	(国数)	成果	57	12年度	57	12年度	2,4
・ 調達	(国数)	成果	11	12年度	11	12年度	2,4
・ 透明性と情報アクセス	(国数)	結果	61	11年度	72	12年度	2,4
<b>人間開発とジェンダーのための支援</b>							
採用または研修を受けた教員 <sup>+</sup>	(百万人)	成果	0.95	11年度	1.1	12年度	1,2
世銀支援による学習評価が行われた国	(数)	結果	25	10年度	29	11年度	1,2
基本的な保健サービスにアクセスがある人口 <sup>+</sup>	(百万人)	成果	18.2	11年度	19.5	12年度	1,5
予防接種を受けた子ども <sup>+</sup>	(百万人)	成果	78	11年度	128	12年度	1,5
社会セーフティネット・プログラムの受益者	(百万人)	成果	114.6	09年度	114.1	11年度	1,5
<b>ジェンダー</b>							
産前ケアを受けた妊婦 <sup>+</sup>	(百万人)	成果	17	11年度	50	12年度	1,5
社会的保護などの絞った制度の恩恵を受けた成人女性と少女	(百万人)	成果	78	12年度	78	12年度	1,2
<b>持続可能な開発のための支援</b>							
<b>インフラ</b>							
道路の建設・修復 <sup>+</sup>	(キロメートル)	結果	56,504	11年度	57,252	12年度	1,2
より整備された飲料水源にアクセスできる人口 <sup>+</sup>	(百万人)	成果	39.6	12年度	39.6	12年度	1,2,5
より整備された衛生施設にアクセスできる人口 <sup>+</sup>	(百万人)	成果	3.1	12年度	3.1	12年度	1,2,5
送配電線の敷設・修復	(キロメートル)	結果	10,740	11年度	36,354	12年度	2
従来型・再生可能エネルギーいずれかの発電容量	(メガワット)	結果	3,719	11年度	5,040	12年度	2
電気へのアクセスを持つ人口	(百万人)	成果	データは2013年に報告予定				1,2
<b>農業生産性と食糧安全保障</b>							
灌漑設備を備えた農地	(百万ヘクタール)	結果	0.7	11年度	1.1	12年度	1,2,5
高度な農業技術を適用している農業従事者	(人)	成果	531,868	12年度	531,868	12年度	1,2,5
<b>気候変動と環境</b>							
特定の気候変動関連ファイナンスを通じた排出削減	(百万CO <sub>2</sub> 換算トン/年)	成果	315	12年度	315	12年度	3,5
自然災害管理に対する支援を受けた国	(国数)	結果	76	10年度	74	12年度	1,2,3,5
<b>金融・民間セクター開発・貿易のための支援</b>							
小口融資の取引口座	(百万件)	成果	31	12年度	31	12年度	1,2,5
貿易関連の診断ツールを採用した国	(国数)	成果	15	12年度	15	12年度	1,2,3

**Tier II:** 世銀は、途上国が開発課題に取り組むための支援として、資金の提供、知識や分析の共有、組織・制度や国家の能力支援、途上国間でのパートナーシップや知識交流を促進しています。世銀は途上国の国家開発における優先課題を支援していますが、その国を取り巻く状況の変化に伴ってそうした優先課題も変化していきます。

国別開発プログラムへの拠出者でありパートナーでもある世銀は、120か国以上の事務所を通じて、開発パートナー間の調整を図り、対話の場を設ける役割を果たすことも多くあります。Tier IIには標準化されたセクター別指標を通じて収集された総合的なデータが掲載されており、そうしたデータは世銀プロジェクトの支援を受けた国別結果を示していますが、人間開発、インフラ、貧困層・脆弱層のサービスへのアクセス改善、成長機会の創出に関する成果が含まれています。世銀の支援は、教育と保健（特に女性・女児に関係するもの）、インフラ、農業、ならびに成長とアクセスのための環境の持続可能な開発、金融・民間セクター開発において、クライアントの成果達成に貢献しています。

## 凡例

## 関連項目

## PCD 1-5

危機後の方向性との関連:

1. 貧困層や脆弱層に重点
2. 成長機会の創出
3. グローバルな協調の促進
4. ガバナンスの強化
5. リスクの管理と危機に対する準備

## タイプ

国レベルのデータが入手可能になれば結果指標に代わって成果指標を使用

## データ

## 年

指標法を使用した最新データの年度または暦年

+ IDA16 成果評価システムで使用されている指標

**注:** Tier II の指標は世銀支援を受けて達成された国別成果を表すもので、需要主導であるため、信号機形式の色分けは個々の指標に割り当てられていない。

世銀は2010年度にIDAプロジェクトの中核セクター別指標を使用してデータ集約を開始し、2011年度にはBRDも含めたため、現在、ベースライン及び一部の指標の現在値は修正され同じになっている。

## Tier III : 開発成果とプロジェクトの有効性

指標	ベースライン		現在		PCD 関連項目	パフォーマンス基準	現状	
	値	年	値	年				
満足度のいくCAS/CPS完了*	(% IEG評価)	59.0	10年度	63.0	12年度		70	R
完了時に満足度のいく成果が得られた (IBRD/IDA) プロジェクト*	(% IEG評価)	76.8	08年度	70.5	10年度		モニター	Y
IBRD適格国	(% IEG評価)	76.5	08年度	70.5	10年度		80	R
IDA適格国	(% IEG評価)	77.0	08年度	70.0	10年度		75	Y
脆弱国 (IBRD/IDA)*	(% IEG評価)	82.6	08年度	71.4	10年度		70	G
分析・助言活動の目標達成率*	(%)	72.0	08年度	71.0	11年度		80	Y
世銀の有効性に対するクライアントの印象	(0-10段階)	6.9	08年度	6.7	11年度		7	Y

## III-A : 開発成果の評価

満足度のいくCAS/CPS完了*	(% IEG評価)	59.0	10年度	63.0	12年度		70	R
完了時に満足度のいく成果が得られた (IBRD/IDA) プロジェクト*	(% IEG評価)	76.8	08年度	70.5	10年度		モニター	Y
IBRD適格国	(% IEG評価)	76.5	08年度	70.5	10年度		80	R
IDA適格国	(% IEG評価)	77.0	08年度	70.0	10年度		75	Y
脆弱国 (IBRD/IDA)*	(% IEG評価)	82.6	08年度	71.4	10年度		70	G
分析・助言活動の目標達成率*	(%)	72.0	08年度	71.0	11年度		80	Y
世銀の有効性に対するクライアントの印象	(0-10段階)	6.9	08年度	6.7	11年度		7	Y

## III-B : プロジェクトの有効性

## 融資業務

## 十分な質の確保とポートフォリオ・パフォーマンス

投資プロジェクトの設計の質*	(%)	76	09年度	83	11年度		90	Y
投資プロジェクトの実施支援の質	(%)	83	09年度	78	11年度		90	Y
進行中のプロジェクトの満足度のいく実施	(%)	88	08年度	85.5	12年度		モニター	G
実行総額	(10億ドル)	19.6	08年度	30.8	12年度		モニター	G
実行率*	(%)	21.3	08年度	20.0	12年度		20	G
承認から実行までに要する期間平均	(月)	12	08年度	7.51	11年度		モニター	G
受益者側が実施する信託基金の実行	(10億ドル)	2.9	08年度	3.6	12年度		モニター	G

## プロジェクトの成果、モニター、評価

開発目標の多様な側面を示す指標があるプロジェクト*	(%)	83	09年度	91	12年度		100	Y
実施完了・成果報告書による主要成果の報告*	(%)	95	12年度	95	12年度		100	G
受益者からのフィードバックを受けた世銀プロジェクト	(%)	22	11年度	22	11年度		モニター	NA

## ジェンダー問題の主流化

ジェンダー問題に配慮して設計されたプロジェクト*	(%)	60	10年度	80	12年度	1,2	55	Y
ジェンダー評価結果を活用・議論したCAS/CPS*	(%)	60	08年度	100	12年度	1,2	100	G

## 知識関連の活動

誰もが自由にアクセスできるデータ	(百万件)	1.7	2008	6.8	2011		モニター	G
学術誌で紹介された研究を含む刊行物	(数)	18,000	2010	18,000	2010		モニター	G

## クライアントのシステムの活用

クライアントの調達システムの活用 (PD調査)*	(%)	40	2006	55	2011		55	G
クライアントの財務管理システムの活用 (PD調査)*	(%)	42	2006	71	2011		65	G
クライアントのモニター評価システムの活用*	(%)	72	09年度	77	12年度		モニター	G
共同分析・助言活動 (PD調査)*	(%)	49	2006	59	2011		66	Y

**Tier III :** 世銀は成果重視を強化する政策、システム、プロセスを採用しています。具体的には、品質保証、成果やパフォーマンスについてのリアルタイムのモニタリング、そして体系的な自己評価とそれを補完する独立評価グループ (IEG) による独立した立場からの事後の戦略・活動評価などです。このTierでは、開発目標の達成における世銀の活動の全体的な成功度、ならびにプロジェクトや知識関連の品質・成果指向、融資ポートフォリオのパフォーマンス、プロジェクトへのジェンダー問題の組み込み、クライアントへのフィードバック、クライアントのシステムの活用など、世銀プロジェクトの有効性について検討します。

## 凡例

## 関連項目

## PCD 1-5

危機後の方向性との関連:

1. 貧困層や脆弱層に重点
2. 成長機会の創出
3. グローバルな協調の促進
4. ガバナンスの強化
5. リスクの管理と危機に対する準備

## データ

\* 「脆弱」国のリストは毎年修正

+ IDA16 成果評価システムで使用されている指標

## 年

データが見直された年度または暦年

## パフォーマンス基準

パフォーマンス基準・ターゲットがある場合に提示される。パフォーマンス基準・ターゲットが該当しない場合、指標は「モニター」される。空欄は基準が作成されていないことを示す。

## 現状

**G 順調** ベースラインからの上昇、またはパフォーマンス基準のある指標については実績が基準を満たしている、または超えている。

**Y 要モニター** 上昇も低下もない、またはパフォーマンス基準のある指標については実績が基準に近いが満たしてはいない。

**R 要軌道修正** ベースラインからの低下、またはパフォーマンス基準のある指標については実績が基準に近づいていない。

**NA 該当せず** 傾向を確立するにはデータ不十分、またはパフォーマンス基準がない。

**注:** CAS=国別援助戦略

CPS=国別パートナーシップ戦略

PD=パブリ宣言

## Tier IV：組織の有効性と改革

指標	ベースライン		現在		PCD/M 関連項目	基準	現状
	値	年	値	年			

## IV-A：資源、スキル、業務改革

## 資源と方向性

クライアントに対するサービスが総コストに占める割合 (%)	62.6	08年度	63.2	12年度		モニター	G
脆弱な地域や紛争の影響下にある地域におけるクライアントに対するサービス (総予算に占める%)	4.9	08年度	5.9	12年度		モニター	Y
融資承認額 (IBRD/IDA) (十億ドル)	24.7	08年度	35.3	12年度		モニター	G
金融仲介基金承認額 (十億ドル)	4.69	08年度	6.08	12年度		モニター	NA
受益者が実施する信託基金承認額 (十億ドル)	2.9	08年度	3.9	12年度		モニター	G
信託基金による知識サービスの割合 (%)	31.6	08年度	45.1	12年度		モニター	Y
IBRD/IDA融資の準備・実施支援のための信託基金の活用 (%)	10.3	08年度	14.9	12年度		モニター	Y

## 能力とスキル

職員の多様性 (指数)	0.85	08年度	0.89	12年度		1.00	Y
職員の機動性 (%)	4.39	08年度	4.39	12年度		モニター	Y
職員の関与度 (%)	78	08年度	80	10年度		モニター	Y

## 業務改革

## 成果を重視した商品／サービス

プログラム成果連動型の融資 (数)	0	12年度Q3	2	12年度Q4	M	モニター	NA
IBRD/IDAの成果に関するストーリーや概要 (ウェブサイト掲載数)	131	2008年	646	12年度		モニター	G
IBRD/IDAの両方について中核的な指標のあるセクター／テーマ (数)	0	09年度	24	12年度		7	G

## 組織

開放性：迅速に対応がなされた情報公開依頼 (%)	78	11年度	78	12年度	M	モニター	G
セクター別理事会の横断性：職員が他のユニットの専門的仕事に費やした時間 (%)	7.5	08年度	6.8	12年度	M	10	R
現場への権限委譲：現場の職員が対応したクライアント向けサービスの割合*	40.6	08年度	44.4	12年度	M	モニター	Y

## 柔軟性と効率性のためのプロセスとシステム

迅速に処理される新たなリスク枠組みを備えたプロジェクト (%)	45	11年度	38	12年度	M	モニター	Y
コンセプトノートから承認までの準備の迅速さ*	17	08年度	14	12年度	M	12か月	Y
融資プロジェクトの平均準備費用* (平均、ドル)	359,000	08年度	357,000	12年度	M	モニター	G
プロジェクト実施支援の平均年間費用* (平均、ドル)	115,000	08年度	132,000	12年度	M	モニター	G
年度開始時の予算の柔軟性 (%)	3.2	08年度	3.1	13年度		5	R

## IV-B：危機後の方向性に関するセクター別行動

								予測
農業及び関連セクターへの支援 (IBRD, IDA, SPF) (平均、十億ドル/年)	2.9	06-08年度	4.3	10-12年度	1,2,5	4.5-6.4 (2010-12)	Y	
持続可能なインフラへの支援 (IBRD, IDA, GEF, RETF, SPF) (平均、十億ドル/年)	8.2	04-07年度	19.5	09-12年度	1,2,3	モニター	G	
保健・栄養・人口への支援 (IBRD, IDA) (平均、十億ドル/年)	1.5	04-07年度	2.4	11-12年度	1,4	2.0-3.0 (2011-12)	G	
教育セクターへの支援 (IDA) (平均、十億ドル/年)	1.0	95-09年度	1.7	10-12年度	1,2	1.1 (2010-15)	G	

**Tier IV：**世銀は、組織を効率化し、職員のスキルや能力を戦略上の優先課題に則したものとし、ステークホルダーへの対応力や説明責任を高めるための改革を実施する取組みを継続しています。世銀の組織としての有効性は着実に向上しつつありますが、資金の配分や資源の活用を継続的に改善しています。

## 凡例

## 関連項目

## PCD 1-5

危機後の方向性との関連：

1. 貧困層や脆弱層に重点
2. 成長機会の創出
3. グローバルな協調の促進
4. ガバナンスの強化
5. リスクの管理と危機に対する準備

M = 業務改革

## データ

+ IDA16 成果評価システムで使用されている指標

## 年

データが見直された年度または暦年

## パフォーマンス基準

パフォーマンス基準・ターゲットがある場合に提示される。パフォーマンス基準・ターゲットが該当しない場合、指標は「モニター」される。空欄は基準が作成されていないことを示す。

## 予測

クライアントの将来の需要に関する現在の予想に基づく。

## 現状

- G 順調** ベースラインからの上昇、または業績基準のある指標については実績が業績基準を満たしているもしくは超えている。
- Y 要モニター** 上昇も低下もない、または業績基準のある指標については実績が業績基準に近いが満たしてはいない。
- R 要軌道修正** ベースラインからの低下、または業績基準のある指標については実績が業績基準に近づいていない。
- NA 該当せず** 傾向が確立するにはデータ不十分、または業績基準がない。

## 世界銀行グループ

世界銀行グループは、国際復興開発銀行（IBRD）及び国際開発協会（IDA）（この2機関を総称して「世界銀行」という）、ならびに国際金融公社（IFC）、多数国間投資保証機関（MIGA）、投資紛争解決国際センター（ICSID）で構成されています。各機関は、貧困削減と生活の向上という共通の目標の達成を目指して協力し、相互の活動を補完し合っています。世銀と民間セクターとの連携が緊密化する中、世銀グループ機関同士の協調も拡大しつつあります。各機関はそれぞれに年次報告を発表し、財務情報を開示しています。

## IBRDの役割

188か国が共同出資する世界規模の開発機関であるIBRDは、途上国の国内経済の公平かつ持続可能な成長の達成、経済発展ならびに環境の持続可能性など、様々な重要分野で差し迫った地域的・世界的問題の解決に向け、加盟国と協力して取り組んでいます。貧困削減と生活水準の向上を最優先の目標とし、主に貸出、リスク管理手段、開発関連分野の専門知識などの提供や、地域や地球規模の課題への対応の調整を行っています（<http://www.worldbank.org/ibrd>参照）。

### IBRDの貸出承認額とサービス

2012年度のIBRDの新規貸出承認額は、93件のプロジェクトに対する206億ドルと、過去の平均（2005-08年度の平均は135億ドル）を大きく上回りましたが、危機的状況がピークに達した2010年度の過去最高額442億ドル、2011年度の267億ドルは下回りました。IBRDの新規貸出承認額が最も大きかったのは、ヨーロッパ・中央アジア地域（62億ドル）及びラテンアメリカ・カリブ海地域（62億ドル）で、次いで東アジア・大洋州地域が54億ドルでした。以下、中東・北アフリカ地域（14億ドル）、南アジア地域（12億ドル）、アフリカ地域（1億4700万ドル）の順でした。セクター別では、貸出承認額が最も大きかったのは行政・法律・司法（54億ドル）で、次いで運輸（34億ドル）、エネルギー・鉱業（28億ドル）、保健・その他の社会サービス（25億ドル）でした。テーマ別に見ると、貸出承認額が特に大きかったのは金融・民間セクター開発（16%）で、次いで公共セクター・ガバナンス（13%）、人間開発（13%）でした。

IBRDはクライアントに対し、開発プログラムのための効率的な資金調達や、通貨・金利・商品価格の変動リスク、自然災害の発生に伴う各種リスクを金融取引によってヘッジするサービスも提供しています。2012年度、世銀財務局は加盟国のために25億ドル相当のヘッ

ジ取引を実行しました。このうち23億ドル相当が金利リスクのヘッジ、1億4900万ドル相当が通貨リスクのヘッジ（現地通貨対ドル）でした。また、バランスシートのリスク管理のために総額95億ドル相当のスワップ取引も実行しました。これに加え、財務局は「予防接種のための国際金融ファシリティ」（通称：IFFIm-ワクチン債発行体）のために2億6900万ドル相当のスワップ取引を実行しました。

### IBRDの原資

IBRDは、国際資本市場で債券（世銀債）を発行して、中所得国への長期貸出を提供しています。2012年度は、23の通貨建の世銀債を発行し、384億ドル相当を調達しました。IBRDは、資本市場における確固たる世銀債発行実績と強固な財務基盤を背景に、市場が乱高下する中であっても、このように多額の資金を有利な条件で調達することができます。IBRDは、資金調達力の基礎となる健全な財務方針と運用によって、これまでトリプルAの信用格付を維持してきました。IBRDの資本は主に払込資本と準備金で構成されています。2011年3月16日に総務会が承認した一般増資及び選択増資の決議の条件に基づき、授權資本は862億ドルの増加になると予想され、その内、51億ドルが5年間で払い込まれる予定です。2012年6月30日現在、授權資本の累積増加分とこうした増資に関連した払い込み額はそれぞれ、合計153億ドルと9億ドルでした。

IBRDはその加盟国に対してサービスを提供する組成的な組織であり、営利を目的とはしていませんが、健全な財務体質を確保し、開発活動を継続するために十分な利益は追求しています。理事会は、2012年度の分配可能純利益のうち3億9000万ドルを一般準備金に追加することを承認し、IDAへの6億800万ドルの移転を総務会に提言しました。

開発金融機関であるIBRDにとって主要なリスクは、貸出や保証を提供するクライアントの信用リスクです。世銀の原則的なリスク指標である貸出・長期投資資産に対する資本の比率は、世銀の財務・リスク見通しに基づいて厳密に管理されています。2012年6月30日現在のこの比率は27.0%でした。

## IDAの役割

IDAは、世界の最貧国に譲許的融資を提供する世界最大の国際機関です。IDAの資金は、クライアント自身が行う経済成長の促進、貧困の削減、貧困層の生活の改善を支援しています。2012年度のIDA融資適格国は81か国でした（<http://www.worldbank.org/ida>参照）。

### IDA融資承認額

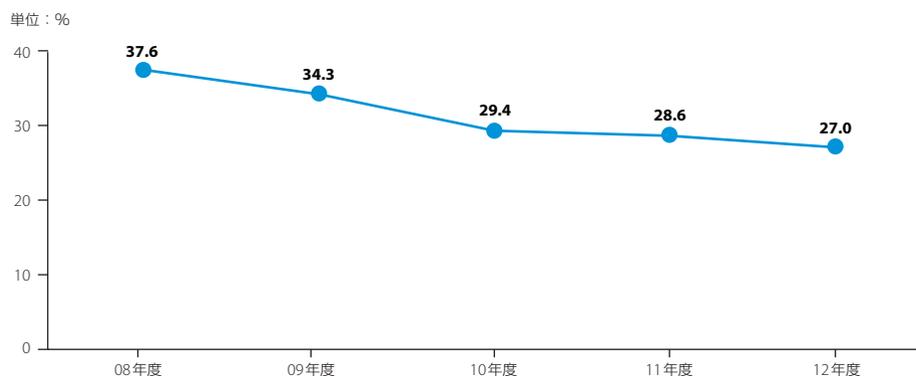
2012年度のIDA承認額は148億ドルでした。その内訳は融資が121億ドル、贈与が22億ドル、4億ドルが保証でした。承認額が最も大きかったのはアフリカ地域で、承認総額は74億ドルでした。南アジア地域（53億ドル）及び東アジア・大洋州地域（12億ドル）も大きな割合を占めており、ヨーロッパ・中央アジア地域（4億ドル）、ラテンアメリカ・カリブ海地域（4億ドル）、中東・北アフリカ地域（1億ドル）がそれに続いています。国別では、インド（27億ドル）及びナイジェリア（13億ドル）に対する融資が最大でした。

セクター別では、エネルギー・鉱業、運輸、水と衛生・治水、情報・通信の各セクターを含むインフラに対する承認額が51億ドルでした。教育セクター及び保健・その他の社会サービスセクター（合計34億ドル）、行政・法律・司法セクター（33億ドル）、農業セクター（20億ドル）に対しても、多額の支援が提供されました。テーマ別に見ると、融資承認額が特に大きかったのは、農村開発（24%）、人間開発（16%）、都市開発（13%）でした。

図1

### IBRD貸出・長期投資資産に対する資本の比率

2012年6月30日現在



### IDAの原資

IDAの活動資金は、主にドナー国からの拠出金で支えられています。その他、IBRD純利益からの移転、IFCからのグラント、過去のIDA融資に対する借入国からの返済金などによっても賄われています。ドナー国と借入国の代表は、3年毎に集まりIDAの融資方針と優先分野を協議し、向こう3年間の融資プログラムに必要な額を決定します。

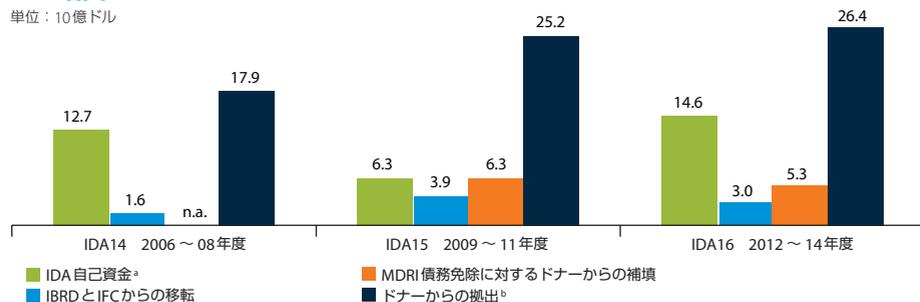
2012年度から2014年度までを対象とするIDA第16次増資（IDA16）では、資金調達総額（IDAの為替ヘッジ及び増資協議後の更新に従って修正）は339億SDR（509億ドル相当）に達しました。このうち新規ドナー7か国を含むドナー51か国からの拠出が176億SDR（264億ドル相当）、債務免除に対するドナーからの補填が35億SDR（53億ドル相当）、IDAブレンド国及びギャップ国の期限前返済及び融資条件の引上げにより確保された資金を含むIDA返済資金が89億SDR（134億ドル相当）、投資収益を含む世銀グループ内からの所得移転が19億SDR（28億ドル相当）で、残りの20億SDR（29億ドル相当）は過去の増資からの繰越しです。IDAのキャッシュフローはIDA融資承認の表示通貨であるSDRでヘッジされており、ドル換算額はIDA16の基準為替レートを参考として示しています。

IDA16の全体に共通する重点項目は、開発成果の達成です。特別テーマとしては、危機対応、ジェンダー、気候変動、紛争の影響下にある脆弱国が挙げられています。IDA16には、低所得国が自然災害の影響や深刻な経済ショックに対処するための支援を目的とした専用の危機対応融資制度への資金提供も含まれています。

図2

### IDA増資

単位：10億ドル



注：n.a. =該当なし。このデータは、最終増資報告、ならびに増資交渉で使用された為替レートを反映。  
 a. IDAの自己資金は、元本返済金、手数料、投資収益など。  
 b. 構造的な資金ギャップを控除後。

図3

### IBRDとIDAの地域別融資額 | 2012年度

総額353億ドルに占める割合

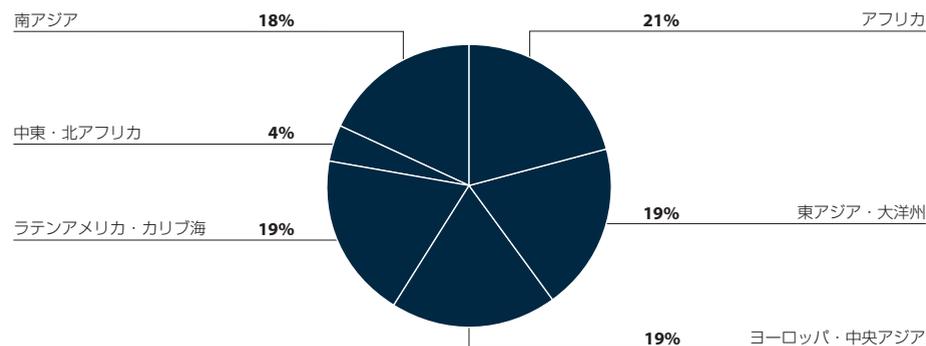


図4

### IBRDとIDAのセクター別融資額 | 2012年度

総額353億ドルに占める割合

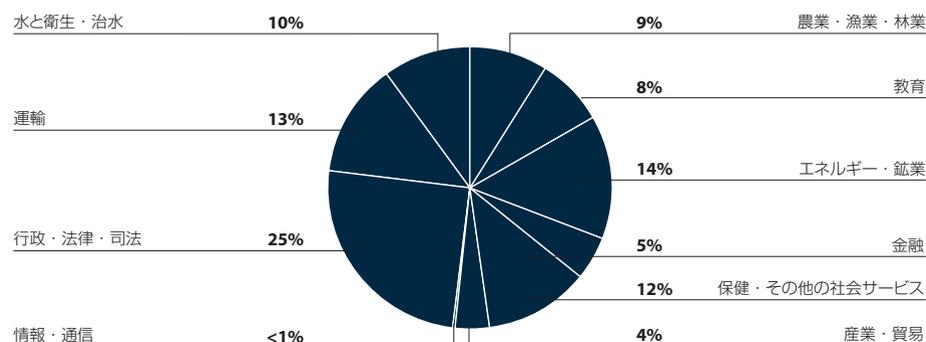
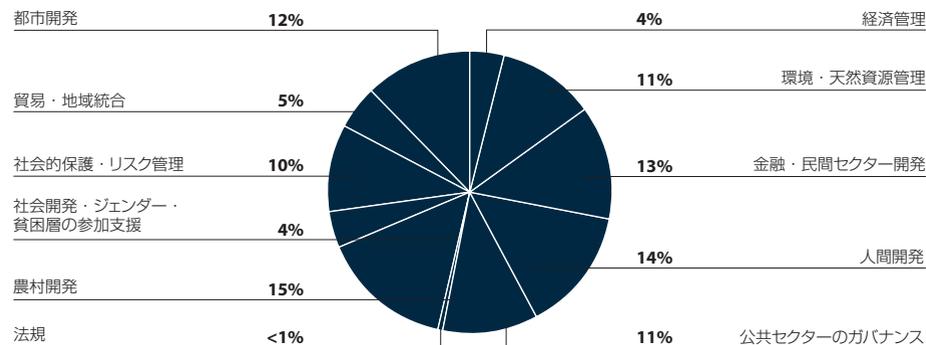


図5

### IBRDとIDAのテーマ別融資額 | 2012年度

総額353億ドルに占める割合



## 2012年度 業務概要

単位：100万ドル

IBRD	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
承認額	13,468	32,911	44,197	26,737	20,582
うち開発政策貸出	3,967	15,532	20,588	9,524	10,333
実行総額	10,490	18,565	28,855	21,879	19,777
うち開発政策貸出	3,485	9,138	17,425	10,582	9,052
元本返済額（前納分を含む）	12,610	10,217	11,624	13,885	11,970
実行純額	(2,120)	8,347	17,231	7,994	7,806
貸出残高	99,050	105,698	120,103	132,459	136,325
未実行額	38,176	51,125	63,574	64,435	62,916
業務利益 <sup>a</sup>	2,271	572	800	1,023	783
利用可能資本及び準備金	36,888	36,328	36,106	38,689	37,636
資本貸出比率	38%	34%	29%	29%	27%

a. IBRDの財務諸表では「非商品勘定ポートフォリオについて公正価値調整を行う前の純利益で、総務会承認済の移転前のもの」として報告されている。

IDA	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
承認額	11,235	14,041 <sup>a</sup>	14,550	16,269	14,753
うち開発政策融資	2,672	2,820	2,370	2,032	1,827
実行総額	9,160	9,219	11,460	10,282	11,061
うち開発政策融資	2,813	1,872	3,228	1,944	2,092
元本返済額（前納分を含む）	2,182	2,209	2,349	2,501	4,023
実行純額	6,978	7,010	9,111	7,781	7,037
融資残高	113,542	112,894	113,474	125,287	123,576
未実行額（融資）	27,539	29,903	30,696	38,059	37,144
未実行額（贈与）	5,522	5,652	5,837	6,830	6,161
開発贈与	3,151	2,575	2,583	2,793	2,062

a. コートジボワールに対する4550万ドルのHIPC贈与を含む。

## 世界銀行によるテーマ別、セクター別融資 | 2007～12年度

単位：100万ドル

テーマ	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
経済管理	248	397	2,305	3,950	655	1,293
環境・天然資源管理	2,017	2,662	5,085	4,337	6,102	3,997
金融・民間セクター開発	4,261	6,156	9,695	17,726	7,981	4,743
人間開発	4,089	2,281	6,379	8,421	4,228	4,961
公共セクター・ガバナンス	3,390	4,347	6,108	5,750	4,518	4,035
法規	424	304	16	207	169	126
農村開発	3,176	2,277	4,299	5,004	5,636	5,443
社会開発・ジェンダー・貧困層の参加支援	1,250	1,003	813	952	908	1,247
社会的保護・リスク管理	1,648	882	5,296	5,006	5,691	3,502
貿易・地域統合	1,570	1,393	3,444	1,818	2,604	1,872
都市開発	2,623	3,001	3,467	5,575	4,514	4,118
<b>総額</b>	<b>24,696</b>	<b>24,702</b>	<b>46,906</b>	<b>58,747</b>	<b>43,006</b>	<b>35,335</b>

セクター	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
農業・漁業・林業	1,717	1,361	3,400	2,618	2,128	3,134
教育	2,022	1,927	3,445	4,945	1,733	2,959
エネルギー・鉱業	1,784	4,180	6,267	9,925	5,807	5,000
金融	1,614	1,541	4,236	9,137	897	1,764
保健・その他の社会サービス	2,752	1,608	6,305	6,792	6,707	4,190
産業・貿易	1,181	1,544	2,806	1,251	2,167	1,352
情報・通信	149	57	329	146	640	158
行政・法律・司法	5,468	5,296	9,492	10,828	9,673	8,728
運輸	4,949	4,830	6,261	9,002	8,638	4,445
水と衛生・治水	3,059	2,360	4,365	4,103	4,617	3,605
<b>総額</b>	<b>24,696</b>	<b>24,702</b>	<b>46,906</b>	<b>58,747</b>	<b>43,006</b>	<b>35,335</b>

<b>うち、IBRD</b>	<b>12,829</b>	<b>13,468</b>	<b>32,911</b>	<b>44,197</b>	<b>26,737</b>	<b>20,582</b>
----------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

<b>うち、IDA</b>	<b>11,867</b>	<b>11,235</b>	<b>13,995</b>	<b>14,550</b>	<b>16,269</b>	<b>14,753</b>
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

注：四捨五入の結果、合計値が総計と異なる場合がある。2009年度のIDA融資は総額4550万ドルのHIPC贈与を除く。

© 2012 The International Bank for  
Reconstruction and Development / The  
World Bank

1818 H Street NW, Washington DC 20433

電話：202-473-1000

ウェブサイト：www.worldbank.org

E-mail: feedback@worldbank.org

一部不許複製

1 2 3 4 15 14 13 12

本書は世界銀行職員により作成されたもので  
す。世界銀行は本書に含まれている個々の情  
報全てに対する所有権を保有しているわけ  
ではありません。したがって、世界銀行は本  
書に含まれる内容の使用が第三者の権利を  
侵害しないという保証はできません。そう  
した侵害の結果として請求を受けるリス  
クは利用者の負担となります。

本書中の地図に示されている国境、色、  
名称などの情報は、それぞれの地域の法的  
地位に対する世界銀行の意見や、こうした  
国境に対する支持あるいは承認を示すもの  
ではありません。

本書に含まれているいかなる部分も世  
界銀行の特権及び免責についての制限ま  
たは放棄となるものではなく、そのよう  
に解釈されるものでもありません。そう  
した全ての特権及び免責がここに明確に  
留保されます。

### 権利と許可



本書は、クリエイティブ・コ  
モンズ表示3.0非移植ライ  
センス (CC BY 3.0) [http://  
creativecommons.org/licenses/by/3.0](http://creativecommons.org/licenses/by/3.0)で  
ご利用いただけます。クリエイティブ・コ  
モンズ表示ライセンスに基づき、利用  
者は、下記の条件に基づいて本書を  
複製、頒布、展示、実演すること、  
ならびに二次的著作物を作成する  
ことができ、これには営利目的での  
利用も含まれます。

表示—本書は次のように表示して  
下さい。World Bank. 2012. *World Bank  
Annual Report 2012*. Washington, DC:  
World Bank. DOI: 10.1596/978-0-8213-  
9699-5. License: Creative Commons  
Attribution CC BY 3.0.

翻訳—本書の翻訳版を作成する  
場合は、上記表示に次のような免  
責事項を追加してください：本翻  
訳版は世界銀行が作成したもの  
ではなく、世界銀行による正式訳  
とはみなされません。世界銀行  
は本翻訳版のいかなる内容また  
は誤りについて一切の責任を負  
いません。

権利及びライセンスに関する  
お問い合わせは下記にお送り  
ください。

Office of the Publisher, The World Bank,  
1818 H Street NW, Washington, DC 20433,  
USA ; ファックス : 202-522-2625 ; Eメール :  
pubrights@worldbank.org.

ISBN (書籍) : 978-0-8213-9699-5

eISBN (電子版) : 978-0-8213-9749-7

DOI: 10.1596/978-0-8213-9699-5

### 世界銀行年次報告2012

出版局

年次報告製作チーム責任者・編集

Cathy Lips

編集アシスタント

Daniel Nikolits

編集製作

Susan Graham

印刷製作

Denise Bergeron

デザイン、活字組み、印刷

活字組み : Hank Issac及びBMWW

デザイン監督 : Hank Issac (River Rock Creative)

印刷 : Asia Pacific Offset (中国・香港特別行政区)

### 世界銀行インフォショップ

ワシントンD.C.にある世界銀行のイン  
フォショップは、書店であると同時に  
情報提供源でもあり、世銀のプロ  
ジェクトやプログラムに関する情  
報を一般の方々も入手して  
いただけます。インフォショップ  
では、世銀の出版物のほか、  
700を超える組織が発行した  
各種出版物も取り揃えています。  
また、著名あるいは新進の著  
者をお迎えしたイベントも  
毎月開催しています。

所在地

18th Street and Pennsylvania Avenue NW

Washington, DC 20433

月曜日～金曜日9:30～5:30

電話 : 202-458-4500

ファックス : 202-522-1500

[www.worldbank.org/infoshop](http://www.worldbank.org/infoshop)

## 世界銀行の地域区分、現地事務所、及び融資適格国

世界銀行は現在、世界120か国以上にある現地事務所を通じて業務を展開しています。現地事務所を増やすことにより、クライアントに対する理解を深め、協力や連携を密にし、パートナーにこれまで以上に迅速にサービスを提供することができます。現在、国別担当局長・マネージャーの88%、職員の39%が現地事務所です。

- IBRD 融資適格国
- IBRDとIDA 融資の適格国(ブレンド国)
- IDA 融資適格国
- 現在、融資が行われていないIDA 融資適格国
- 世界銀行の融資を受けていない国
- 世界銀行現地事務所
- ★ 国別担当局長が駐在する現地事務所
- 世界銀行地域区分の境界線

### 中東・北アフリカ地域

2012年度新規融資承認額  
IBRD：14億3300万ドル  
IDA：8000万ドル  
プロジェクトのポートフォリオ：84億ドル

### ヨーロッパ・中央アジア地域

2012年度新規融資承認額  
IBRD：62億3300万ドル  
IDA：3億6200万ドル  
プロジェクトのポートフォリオ：230億ドル

### 東アジア・大洋州地域

2012年度新規融資承認額  
IBRD：54億3100万ドル  
IDA：11億9700万ドル  
プロジェクトのポートフォリオ：303億ドル

### ラテンアメリカ・カリブ海地域

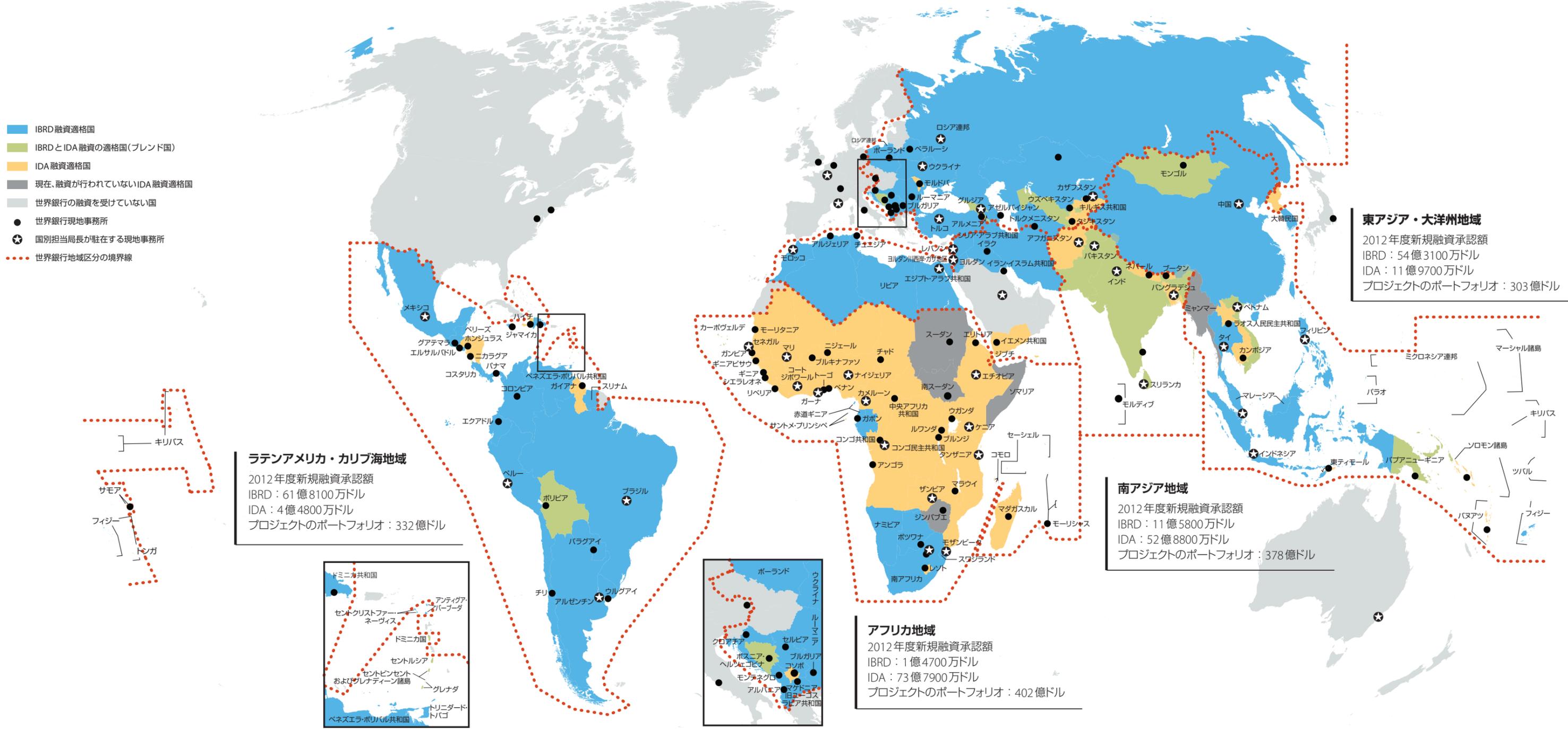
2012年度新規融資承認額  
IBRD：61億8100万ドル  
IDA：4億4800万ドル  
プロジェクトのポートフォリオ：332億ドル

### 南アジア地域

2012年度新規融資承認額  
IBRD：11億5800万ドル  
IDA：52億8800万ドル  
プロジェクトのポートフォリオ：378億ドル

### アフリカ地域

2012年度新規融資承認額  
IBRD：1億4700万ドル  
IDA：73億7900万ドル  
プロジェクトのポートフォリオ：402億ドル



## 世界銀行の使命

貧困のない世界、それが私たちの願いです。

持続的な結果を達成するため、熱意とプロフェッショナリズムを持ち、貧困削減に取り組んでいます。

資源の提供、知識の共有、キャパシティ・ビルディング、官民セクターにおけるパートナーシップの構築を通じて、人々の自助努力とその環境作りを支援します。

人を引きつけ、活力を与え、耳を傾け、学ぶ姿勢を持った優れた職員を育くむ援助機関を目指しています。

## 世界銀行の原則

クライアント優先、パートナーシップの推進、質の高い成果への説明責任、健全な財務体質、コスト効果の向上、意欲、革新性

## 世界銀行の価値観

1人ひとりの誠実さ、倫理、コミットメント、オープンで信頼できるチームワーク、他者へのエンパワメントと個々の違いの尊重、リスクをとることと責任の奨励、公私共に楽しむ精神



### 世界銀行東京事務所

〒100-0011  
東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル10F  
電話：03-3597-6650 (代)  
ファックス：03-3597-6695  
ウェブサイト：[www.worldbank.org/japan/jp](http://www.worldbank.org/japan/jp)

ISBN 978-0-8213-9699-5



SKU 19699